

《 月次商品情報 》		
担当者	商品情報・営業奮闘記	
【川波】 蟹 鮭 銀ダラ たこ	<p>【蟹全般】 6月は弊社決算月となります。本年度の蟹の販売は、在庫している商材の単価が次々下落した影響なのか社会的な流れを汲んだことにより消費が落ち込んだ影響なのか、非常に苦しい販売となった一年であり、いろいろと考え直さなければならぬ事を多く感じた一年でした。また、不安定な相場が続いている事で扱う側の買いどころや提案が難しく、その影響で更に売れなくなっていきと悪いループに入っているような気がします。現在、商品の単価は充分使いやすいくらい水準まで来ているとは思いますが、あとはどのような販売をしていくか、使用者へ向けどのような提案をしていくかが今後の重要な要素かと思えます。あくまで私見ですが、近年の蟹のずさんな販売があったことにより、末端顧客の満足度が落ち、蟹を二度と食べない、または食べなくても良いという人が増えてしまったのではないかと危惧しております。それは業界に携わる私にも責任の一旦はあると感じております。今後は商売の原点である、また蟹を食べたい、美味しいと喜んでもらえる販売をし、どうせなら業界に貢献できるような販売を少しでもできればと考えております。まずは決算までに今ある在庫をある程度整理し、新年度に向けての準備が出来ればと考えておりますので、メール配信や直接お電話にて販売のご相談させて頂く事があるかもしれません。何か御用がございましたらお気軽に川波までお問い合わせください。ご協力お願い致します。</p> <p>【鮭鱈全般】 鮭鱈も相場変動が激しく、単価が下がったり上がったりが多かった商材の一つであると思います。特に弊社が得意としている紅鮭製品の売れ行きがなかなか渋く、決算までにはある程度出していきたい在庫がまだ数点ございます。是非販売にご協力頂ければ幸いです。今後は、紅鮭製品以外にトラウト製品と北海道産の商品の取り扱いを多くしていこうと考えております。すでにご案内している北海道産の秋鮭定塩ハラスはおかげさまで多くのお問い合わせを頂き、6月初旬の搬入を待った状態で一旦欠品となってしまいました。ありがとうございます。今後も継続して皆様にのご案内できるよう原料の交渉していきます。また、他の北海道商材も試作しており、出来次第すぐにご案内させて頂こうと考えておりますので、是非ご検討してみてください。</p> <p>【銀ダラ】 原料が少し下がり以前よりは扱いやすい単価になってきている中で、少しずつ販路は広がり、先月は60gの西京漬けを新規でご使用頂くお話がありました。価格表に記載している規格の商品は定番で在庫しておりますが、条件によりご希望の規格による製造・販売も可能です。弊社は、原料の取り扱いから製品の製造・販売までを行う仕入れ先様と懇意にさせて頂き、定番の商品を少しずつ増やしている現状です。イメージしていることやご検討していることがあるお客様は一度お問い合わせください。私も製品のラインナップを1品でも増やすために日々試行錯誤していく所存です。</p> <p>【たこ】 今も原料は高止まりしております。関東ではあまり見向きもされていなかった頭も、最近では美味しいという評価が増えてきた影響で値段が更に下がりがつらい状況になるかもしれません。製品は、端境期と単価の兼ね合いでポイル足IQF袋入りや頭の商品が品薄です。ポイル足IQF袋入りは6月1日に少し搬入になってきますが、頭は少し高くまだ買い付け決めておりません。ポイル足IQF袋入りの商品は、メーカーや多少のサイズ感は変わりますが、都度ご使用頂けるよう在庫準備しておりますので是非継続してご検討ください。頭は高いものであれば買える可能性ありますので探しているお客様は一度お声掛けお願い致します。また、先月お話しさせて頂いた、たこしゃぶのサンプル依頼が増えてきております。ご使用頂けるお話も頂いておりますので、興味があるお客様は今一度ご検討頂ければ幸いです。今後も随時定番とスポット品のご案内をさせて頂きます。</p>	
	【伊藤】 えび 貝	<p>【ボタン海老】 5月中旬に待望の国内春漁一発目の搬入がありました。例年であれば3月末から4月上旬にかけて春漁が入ってきておりましたが、中国の買いがあまりにも強かったため国内への搬入が遅くなりました。入荷自体が遅かったためBFM、BFMS、BM、BMSは国内欠品状態が続いており、5月中は欠品で大変ご迷惑をおかけしました。搬入自体が万度にあったわけではない中、ある程度は在庫確保できましたが、依然国内在庫がタイトなことには変わりはありません。数量等の相談ありましたら、是非お問い合わせください。</p> <p>【南蛮海老】 中国輸出でLA、Lサイズの引き合いが強いため、小型サイズは欠品状態となっております。今後3L、2Lにシフトして行くと思いますが、現状高値安定が続いているため、国内の飲食店も1尾単価の安いLAを使用したお客さまも多かったように感じます。弊社も5月中旬にLA、Lは欠品してしまっただけで、今後のマーケットは2L中心になってきます。南蛮海老の原料は少し価格を下げ販売強化しております。価格・数量等ご相談ございましたらお気軽にお問い合わせください。また、常時2Lサイズの尾付きむき製品を販売しております。1尾単価も原料より安く売れ行きは良いのでご検討ください。</p> <p>【ホタテ貝柱】 5月は漁場造成の玉冷で少し安めのものが出てきており、全体的に価格が下がってきているのではという問い合わせが非常に多かったです。6月の本操業で製品の出来上がり時期や価格等はこれからのため価格の変動が全く読めない状況です。周りに合わせた単価帯で販売しておりますので、随時情報入り次第更新させていただきます。</p>
		<p>【魚卵全般】 5月はGW需要も重なり荷動きがだいぶ良くなったと感じております。個人的には徐々にこのままに戻ってコロナ前の活気が戻ってくるのを願うばかりです。6月は弊社決算月の為、昨年からの一年を大まかに振り返ってみると、ここ2〜3年、国産いくらや輸入イクラ製品がずっと高騰し続けていました。しかし、去年の北海道の秋鮭漁が過去5年間で一番獲れた結果になり、そこから徐々にですが全てのいくらの製品の単価が下がり始めた印象を受けます。これから始まるアラスカでの漁獲(鮭・鱈等)も豊漁の予測なので、今現在の価格からまたもう一段階下がるイメージで考えております。また輸入イクラの新物搬入は数か月先になりますが、今まで以上にお客様がお求めになりやすい単価帯になると思いますので、是非この機会に国産いくら・輸入イクラ問わずご連絡頂ければ幸いです。</p>
【齊藤(男)】 えび	<p>【アルゼンチン赤海老】 L2の引き合いが強くなり欠品しているところが増えてきています。弊社では少量ですが在庫することができたのでご希望の方はお早めにお問い合わせ頂けると幸いです。価格は高値で安定しており、8月の搬入までは大きく変わらない予想です。搬入以降の情報はわかり次第お伝えしていきますので宜しくお願い致します。</p> <p>【ポイル甘海老】 どのサイズも価格がかなり高騰してきております。物自体も全国的に欠品状態です。来月搬入分は少し価格を抑えられるかと思っております。是非お問い合わせをお待ちしております。ある程度の数量を確保することもできますので、こちらも一緒にお問い合わせ頂けると幸いです。</p>	
	<p>【ポイルホタテ】 5月に続き、6月も若干の価格修正を致しました。高値が続きますが、サイズによっては引き合いが強い傾向にあり、2Lと3Sサイズは不足気味となりそうです。現在、弊社で手動可能なサイズは、Mから2Sまでのサイズが中心となっております。価格や数量に関してお困りでしたら是非一度、後村までお問い合わせ頂けると幸いです。</p> <p>【片貝ホタテ】 これまで、2社様のブランドを扱ってきましたが、そのうちの1社は6月上旬で年内最後の搬入となりそうです。もう1社に関しては、価格上昇が収まらず、搬入時期も不透明となっております。6月まではできる限り価格の変更を行わず、7月より再度価格の調整をさせて頂こうと考えています。夏のBBQシーズンに向けて在庫を確保して参りますので、是非お問い合わせ下さい。</p>	
【後村】 貝		